

事業所職員向 児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題・改善点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	35	2	0	・日当たりもよく、広々と過ごせている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	33	4	0	・子どもに対して職員の配置数が多くしっかり見守る事が出来ていると思う。 ・パートさんが多いため、休みが重なることがある。 ・日によって左右される事がある。 ・1対1で関わりを持たないといけない子どもでも、職員対子ども全体になる時がある。 ・給食時は慌ただしい時もあるが、適切だと思う。	・日によって職員の配置数に差があり、個々のニーズに沿った支援ができない時もあり、十分な職員が配置されているといえない日や、逆に配置人数が多く手厚すぎる日もあり、子どもの力を最大限に引き出せない事もあるため、職員の人数が少ないと分かっている日は前日ではなく、前もって職員の出勤日調整を行い、逆に職員が多い日の活動内容については、十分に子どもの力が発揮できるように心掛け、活動に取り組むよう改善していきます。 ・給食時は新型コロナウイルス感染症予防のため、職員の役割分担を明確にし、子どもたちが楽しい雰囲気の中で食事が出来る様に心掛けていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	33	4	0	・視覚的優位な子どもとのコミュニケーションを取るための身近な写真やイラスト類がもう少しあるとよいと思う。 ・洗濯機を移動してほしい(人の往来が多くなるので)。 ・多目的室と多目的室の音に対する配慮が必要かと思われる。 ・現在のきり組のトイレ・手洗いは、子ども用ではない。子どもにとっては苦痛になっている子もいるかもしれない。補助便座や踏み台を併用しているが、足がしっかり着くよう、より配慮が必要かと思われる。	・視覚的な支援については、クラス会議等で個々の子どもの特性に対して検討し、必要に応じて対応していきます。 ・多目的室や遊戯室などの大きな部屋での音の反響を、少しでも軽減する必要があると考えています。 ・洗濯機は基本、子どもの登園前及び登園後に使用するようになります。 ・きり組のトイレの足場の固定等については、クラスで検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	35	2	0	・朝・帰りの掃除やおもちゃの消毒など力を入れていると思う。 ・発達年齢等に応じた玩具や季節に応じた絵本に入れ替えるなど、毎日過ごす環境を工夫する。	・新型コロナウイルス感染症予防のためにも、館内及び遊具や玩具等の消毒を徹底しました。 ・発達年齢に応じた玩具や絵本の入れ替えを定期的に変更してまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	31	3	0	・クラスの中では、職員同士のコミュニケーションはある。くれよん全体だと、出来ない部分もある。 ・職員同士の連携も取れていると思う。 ・各クラスの理解のみなので、全クラスを知る機会があるとより良いと思う。 ・クラス担任が、保護者と常にコミュニケーションをとる努力をしている。	・目標設定までは比較的行なうことができていますが、振り返りまでは実施できていない事が多いため、定期的に振り返りに取り組み、業務改善を進めるにあたり、PDCAサイクルに取り組んでいきます。 ・担当クラスの事だけでなく、全クラス、園全体の事を把握し、療育に取り組めるよう情報共有に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	36	1	0		・2018年より、実施しています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	35	1	0		・2018年より、実施しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33	3	0		・第三者による外部評価は実施していません。 ・パート職員との情報共有につとめていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	35	1	0	・大きな研修はあるが、具体的なQ&Aのような身近な研修がない。 ・専門的な研修が少ない。	・資格や経験のあるパート職員が多く勤務しているが、平均的に資質を上げることができるよう研修の機会を確保し、情報の周知に努め、職員の資質の向上に取り組んでいきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	34	2	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	31	2	0	・わかりません。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36	0	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	36	1	0	・長期の目標には沿っているが、短期的な具体的な支援が周知されていない。	・クラス会議等で支援計画について情報共有に取り組んでいきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	34	1	0		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	33	2	0	・同じ内容が多い、少し変化をもたせたり発展させていく工夫がほしい。	・継続支援の中でも、必要に応じて活動プログラムを工夫するよう心掛けていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	34	1	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	35	2	0	・打合せするよう心掛けているが、出来ずに支援を開始してしまう日もあるため、意識することでより良い支援ができるようにする。 ・支援の内容は伝わるが、深い所までの話がない。 ・時間内でするには難しい点があるが、職員同士の工夫が必要。	・事前打ち合わせが出来ない日があるため、時間を工夫し、情報共有に努めています。 ・朝の通園バス添乗担当になった際は、添乗後すぐに活動に入る事になるため、前日に確認をするようにしていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	30	7	0	・帰りに話し合う時間はあまりないですが、清掃中に気付いた事など話し合ったりはしているかと思う。 ・振り返りの時間が持てない。次に繋げられない原因かも・・・。 ・必ずその時間を取るのには難しいが、気付いた点の共有は毎日したいと思う。	・夕方の通園バス添乗や延長保育担当の職員がいるため、毎回振り返りの時間を確保する事が出来ないが、意識的に振り返りの時間を確保するよう努めています。 ・クラスごとに振り返りに対する取り組み方に違いはあるが、正職員とパート職員間で必ず毎日打ち合わせはできない事があるため、改善が必要であると考えています。
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	35	1	0		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	36	1	0			
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	32	3	0		・サービス担当者会議には主たる職員が参画しているが、それらの情報等をパート職員にも共有していきます。	
関係機関や保護者との連携	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	32	3	0		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか					当園は現在、医療的ケアを要する子どもや重症心身障害のある子ども等を受け入れていないため、関係機関と連携した支援は行っていない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	36	0	0		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	36	0	0		
	27 他の児童発達支援センターや発達障害者支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	32	3	0	・専門機関とのやり取りは、あまりないと感じる(他の児童発達支援センターの人と関わる事は少ない)。	・今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、他の児童発達支援センター等の専門機関とは電話等での連携を図りましたが、例年実施している研修等は実施できませんでした。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	22	0	・今年度は、コロナの影響で行なうことができていないが、例年は実施している。 ・コロナの影響がなければ出来たらよいと思う。 ・近くの幼稚園の園庭等へ行く機会を通して、交流を持つことができたよと感じる。	・個別で幼稚園等に通い、交流を実施しました。 ・園庭開放への参加の機会を増やしていきたいと考えていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延のため実施できませんでした。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18	10	5	・コロナで参加が難しいこともあるが、出来ることをしていると思う。 ・その辺の詳しい事が分かりません。	・会議内容により、相談支援専門員又は児童発達支援管理責任者が会議に参加しているが、他職員に対して会議の内容報告まで出来ていないため、会議の情報共有を今後行なっていきます。 ・会議に参加したことのない職員の参加についても、今後検討していきたいと考えています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	36	1	0	・持ち物・服装に関して理解してもらえていない事が多い。活動しにくい服装が多い。	・年度始め及び園だより等で、持ち物や服装についての注意点を周知していきます。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	22	9	0	・圖でペアレントトレーニングは行っていないと思うが、情報の提供など支援は行っていると思う。	・ペアレントトレーニングは実施できていません。 ・家族支援は重要なため、研修会への参加を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から研修が中止になったため、来年度は研修会に参加し、家族支援の充実を図っていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	32	1	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	34	1	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	35	2	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	36	0	0		・現場の職員がより保護者交流会に参加できるよう、保護者交流会の実施時間帯等の検討を行ないます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	34	0	0		・相談や申し入れがあった際には迅速に対応出来るよう、今後も心掛けていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	33	2	0		
	38	個人情報に十分注意しているか	36	1	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	36	1	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	27	6	0	・コロナの影響で難しくなっていると思う。 ・コロナの影響がなければできていたと思う。 ・コロナのため、出来なかった。 ・毎年、夏まつりに地域の方々に来て頂いてきましたが、今年は出来なかった。	・地域の福祉ニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいきたいと考えています。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延のため、予定していた行事を実施する事が出来ませんでした。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	37	0	0	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	37	0	0		・避難訓練の際、訓練の実施時間を周知せず、訓練を実施しました。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	37	0	0		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	37	0	0		・担当しているクラス以外の対象児についても、情報共有を徹底していきます。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	36	1	0	・ヒヤリハット、共有されていない。	・ヒヤリハット報告書の情報共有を徹底していきます。 ・今年度は、ヒヤリハットデーを定期的に設け、危険防止を意識しました。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	37	0	0		・毎月「業務等のセルフチェックリスト」にてセルフチェックを実施しているが、各職員がチェックした事を詳しく検証するまでは至っていないため、日々のセルフチェック内容を検証し、支援に繋げていきたいと思っております。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	29	4	0	・記載は見つからない。	・契約時に十分な説明は行なっているが、支援計画書への記載は、現時点で対象児がいらないため記載していません。

《総括》

今後も引き続き職員全体に「児童発達支援ガイドライン」の内容を周知徹底し、より良い支援に取り組んでまいります。  
特に、新たに入職した職員に対してはその都度、「児童発達支援ガイドライン」の内容についての説明を実施し、継続的に児童発達支援の質の向上を図り、充実した支援を提供してまいります。  
子どもが充実した毎日を通し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培っていけるように、職員研修の機会を確保し、職員の資質の向上に努めてまいります。  
今年度は特に、新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組みながら、子どもたちが毎日、元気に安心してくれよんに登園することができる環境整備及び療育内容について検討を重ねてまいりましたが、現状に満足することなく、今後も工夫及び改善すべき点については保護者の皆様からのご意見を賜り、より良い支援に繋げてまいりたいと考えております。  
今後とも児童発達支援センターくれよんにご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。